

## 第2章 結果の概要



## 転入者アンケート調査結果の概要

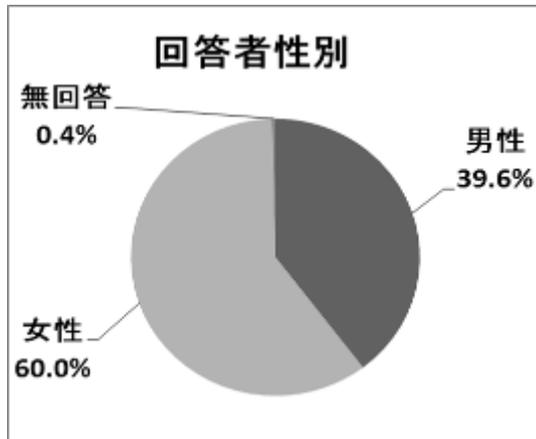


## 【1】転入者アンケート調査

### 問1 性別

回答者 280 人を男女別にみると、男性は 39.6%、女性は 60.0%、無回答は 0.4%であった。

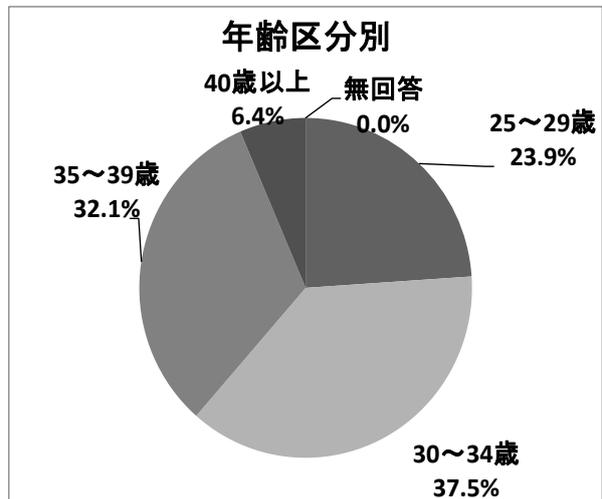
設問	選択肢	総数	割合
性別	男性	111	39.6%
	女性	168	60.0%
	無回答	1	0.4%
	計	280	100.0%



### 問2 年齢

年齢区分別にみると、「25～29歳」は 23.9%、「30～34歳」は 37.5%、「35～39歳」は 32.1%、「40歳以上」は 6.4%という結果であった。

設問	選択肢	総数	割合
年代	25～29歳	67	23.9%
	30～34歳	105	37.5%
	35～39歳	90	32.1%
	40歳以上	18	6.4%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%

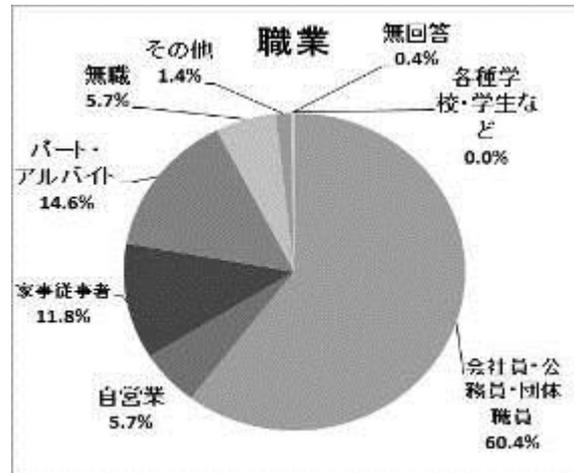


## 【1】転入者アンケート調査

### 問3 職業等

職業別にみると、「会社員・公務員・団体職員」は60.4%で最も高い割合となっている。

設問	選択肢	総数	割合
職業	各種学校・学生など	0	0.0%
	会社員・公務員・団体職員	169	60.4%
	自営業	16	5.7%
	家事従事者	33	11.8%
	パート・アルバイト	41	14.6%
	無職	16	5.7%
	その他	4	1.4%
	無回答	1	0.4%
	計	280	100.0%



### 問4 同居の子どもの人数

同居の子どもの人数について、「1人」と答えた方は26.4%、続いて、「2人」18.6%、「3人」3.2%となっており、また、「子どもはいない」と答えた方は51.8%であった。同居の子どものがいる方は合わせて48.2%となった。

設問	選択肢	総数	割合
同居の子どもの人数	1人	74	26.4%
	2人	52	18.6%
	3人	9	3.2%
	4人	0	0.0%
	5人以上	0	0.0%
	子どもはいない	145	51.8%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%

設問	選択肢	総数	割合
同居の子どもの有無	子どもがいる	135	48.2%
	子どもはいない	145	51.8%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%

## 【1】転入者アンケート調査

### 問5 子どもの年代別 (※複数回答可) (N=135)

問4で子どもがいると答えた方のうち、子どもを年代別にみると、「就学前」は90.4%、「小学生」は23.7%、「中学生」は2.2%であった。調査対象の年代を25歳から39歳としたことから、就学前の子どもの割合が高い結果となったと考えられる。

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども(※複数回答)子どもの人数回答者が母数	就学前	122	90.4%
	小学生	32	23.7%
	中学生	3	2.2%
	高校生	2	1.5%
	専門学校・短大・大学・大学院など	1	0.7%
	既に学校教育終了	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	無回答	1	0.7%
	計(回答総数)	161	-
	回答者数(子どもがいる方)	135	

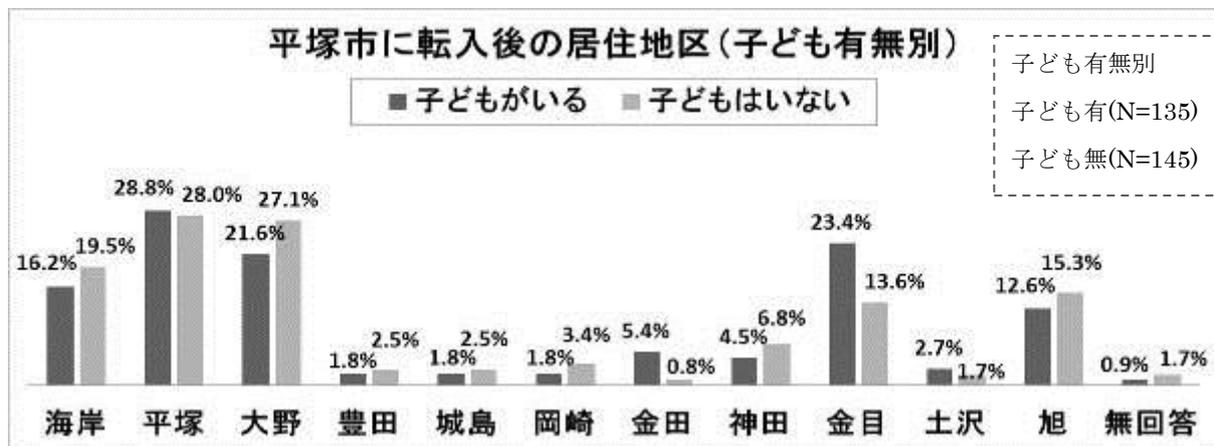
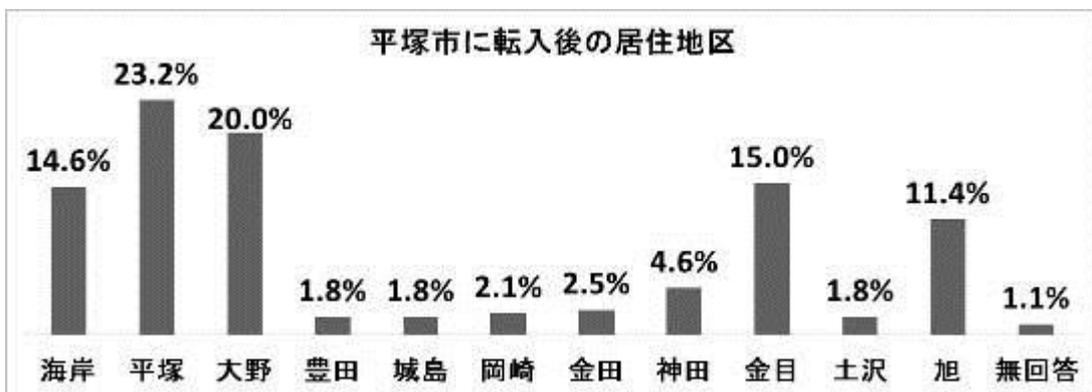
## 【1】転入者アンケート調査

### 問6 転入後の平塚市内の居住地区

平塚地区が23.2%で最も高く、大野地区20.0%、金目地区15.0%、海岸地区14.6%、旭地区11.4%と続いている。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方の地区別割合は、平塚地区で28.8%と最も高く、金目地区23.4%、大野地区21.6%と続いております、「子どもはいない」と答えた方の地区別割合は、平塚地区が28.0%で最も高く、大野地区27.1%、海岸地区19.5%と続いている。

人口割合と今回調査の割合を比較すると、平塚地区と金目地区への転入割合が高く、特に金目地区への「子どもがいる」方の転入割合が高くなっている。



(参考) H30.1.1時点の人口の地区別比率と今回調査の転入割合(N=280)

	地区	総人口	人口割合	今回調査の転入割合
1	海岸	40,281	15.6%	14.6%
2	平塚	39,742	15.4%	23.2%
3	大野	57,955	22.4%	20.0%
4	豊田	5,323	2.1%	1.8%
5	城島	3,899	1.5%	1.8%
6	岡崎	9,184	3.6%	2.1%
7	金田	10,077	3.9%	2.5%
8	神田	23,976	9.3%	4.6%
9	金目	19,832	7.7%	15.0%
10	土沢	7,206	2.8%	1.8%
11	旭	40,906	15.8%	11.4%
	無回答			1.1%
	計	258,381	100.0%	100.0%

## 【1】転入者アンケート調査

### 問7 転入前の市区町村

転入以前に神奈川県内に住んでいた方は全体の82.9%、東京都内に住んでいた方は全体の15.7%であった。

市区町村別で見ると、横浜市が全体の19.7%で最も高く、次いで、茅ヶ崎市10.8%、藤沢市と秦野市が7.9%、伊勢原市7.5%、川崎市5.7%と続いている。

#### ・都県別

都県別	人数	比率
神奈川県	232	82.9%
東京都	44	15.7%
その他	1	0.4%
無回答	3	1.1%
計	280	100.0%

#### ・市区町村別（上位抜粋）

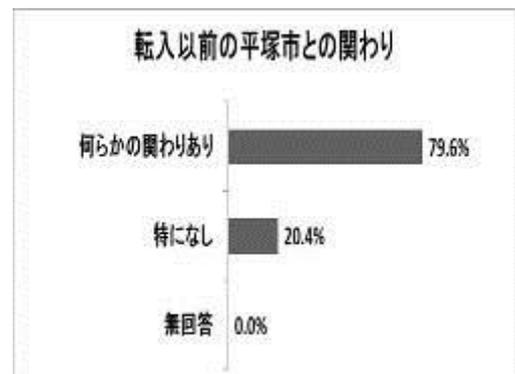
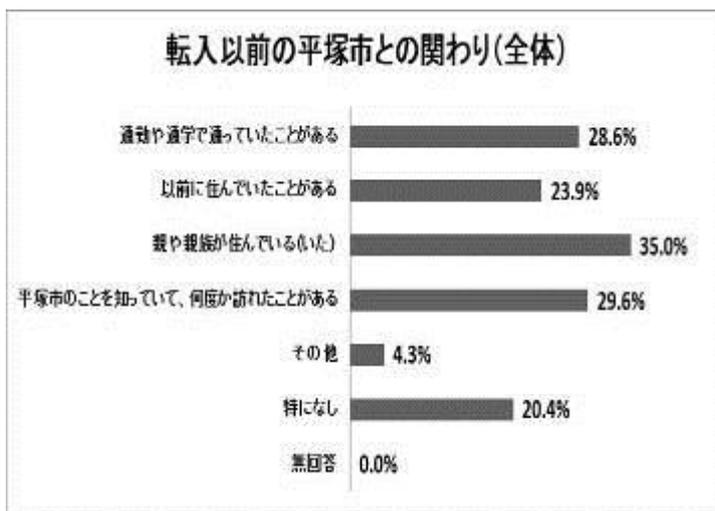
順位	市区町村	人数	比率
1	横浜市	55	19.7%
2	茅ヶ崎市	30	10.8%
3	藤沢市	22	7.9%
3	秦野市	22	7.9%
5	伊勢原市	21	7.5%
6	川崎市	16	5.7%
7	厚木市	12	4.3%
8	寒川町	11	3.9%
9	小田原市	9	3.2%
10	相模原市	7	2.5%
10	横須賀市	7	2.5%
12	海老名市	6	2.1%
12	大磯町	6	2.1%
14	大和市	4	1.4%
14	足立区	4	1.4%
16	世田谷区	3	1.1%
16	杉並区	3	1.1%
16	八王子市	3	1.1%
16	町田市	3	1.1%
16	無回答	3	1.1%

## 【1】 転入者アンケート調査

### 問8 転入前の平塚市との関わり (※複数回答可)

転入以前の本市との関わりについて、「親や親族が住んでいる(いた)」が最も高く、全体の35.0%、次いで、「平塚市のことを知っていて、何度か訪れたことがある」が29.6%、「通勤や通学で通っていたことがある」が28.6%で続いている。また、「特になし」と答えた方は20.4%であり、「特になし」と「無回答」を除いた、平塚市と何らかの関わりがあった方は全体の79.6%であった。

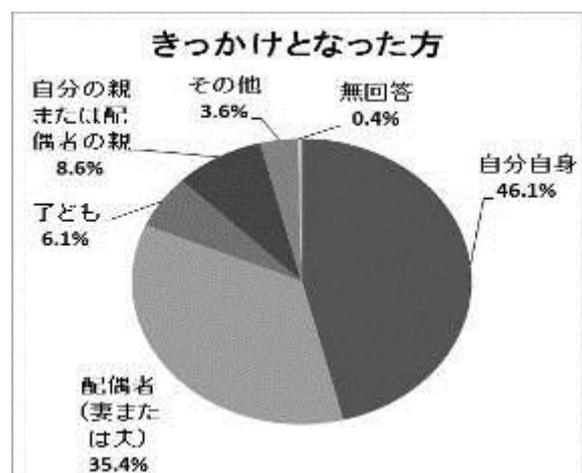
設問	選択肢	総数	割合
平塚市との関わり	通勤や通学で通っていたことがある	80	28.6%
	以前に住んでいたことがある	67	23.9%
	親や親族が住んでいる(いた)	98	35.0%
	平塚市のことを知っていて、何度か訪れたことがある	83	29.6%
	その他	12	4.3%
	特になし	57	20.4%
	無回答	0	0.0%
	計	397	-
	計(回答者数)	280	



### 問9 転入するきっかけとなった方 (回答は1つ)

本市へ転入するきっかけとなった方について、「自分自身」が最も高く46.1%、次いで、「配偶者」が35.4%であった。

設問	選択肢	総数	割合
主なきっかけの方	自分自身	129	46.1%
	配偶者(妻または夫)	99	35.4%
	子ども	17	6.1%
	自分の親または配偶者の親	24	8.6%
	その他	10	3.6%
	無回答	1	0.4%
	計	280	100.0%

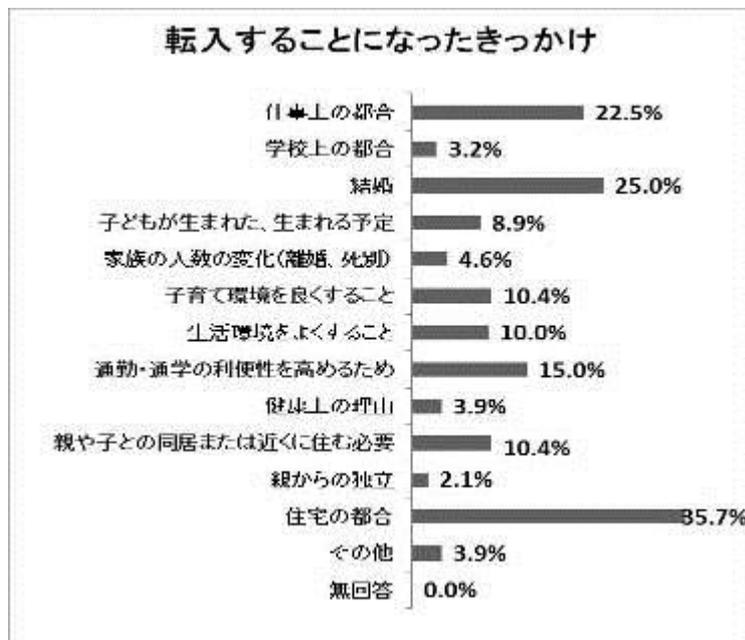


## 【1】転入者アンケート調査

### 問10 転入することになったきっかけ（※複数回答可）

転入することになったきっかけは、「住宅の都合」が最も高く 35.7%、次いで、「結婚」が 25.0%、「仕事上の都合」が 22.5%で続いている。

設問	選択肢	総数	割合
転入することになったきっかけ	仕事上の都合	63	22.5%
	学校上の都合	9	3.2%
	結婚	70	25.0%
	子どもが生まれた、生まれる予定	25	8.9%
	家族の人数の変化(離婚、死別)	13	4.6%
	子育て環境を良くすること	29	10.4%
	生活環境を良くすること	28	10.0%
	通勤・通学の利便性を高めるため	42	15.0%
	健康上の理由	11	3.9%
	親や子との同居または近くに住む必要	29	10.4%
	親からの独立	6	2.1%
	住宅の都合	100	35.7%
	その他	11	3.9%
	無回答	0	0.0%
	計(回答総数)	436	-
計(回答者数)	280		



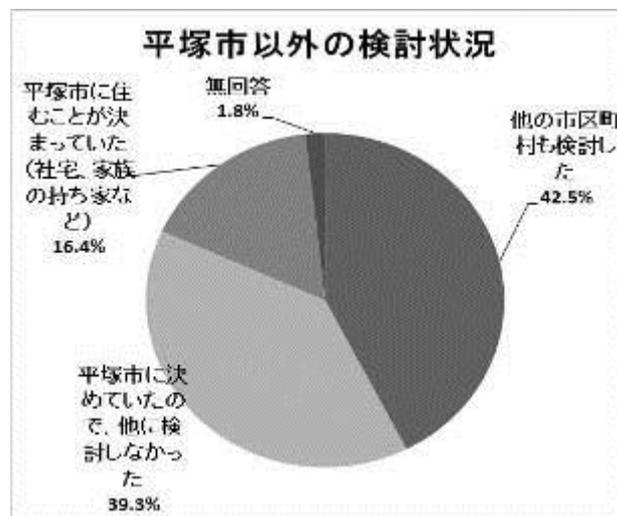
## 【1】転入者アンケート調査

### 問11 他の市区町村の検討状況（回答は1つ）

「他の市区町村も検討した」は42.5%、「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」は39.3%、「平塚市に住むことが決まっていた（社宅・家族の持ち家など）」は16.4%となった。

全体の約82%は平塚市を選択して転入した方、約16%はすでに平塚市内で住む場所が決まっていたことがわかる。

設問	選択肢	全体	割合
平塚市以外の検討状況	他の市区町村も検討した	119	42.5%
	平塚市に決めていたので、他に検討しなかった	110	39.3%
	平塚市に住むことが決まっていた（社宅、家族の持ち家など）	46	16.4%
	無回答	5	1.8%
	計	280	100.0%



#### ■検討した市区町村（上位12位）※複数回答可

（問11で「他の市区町村も検討した」方が回答）

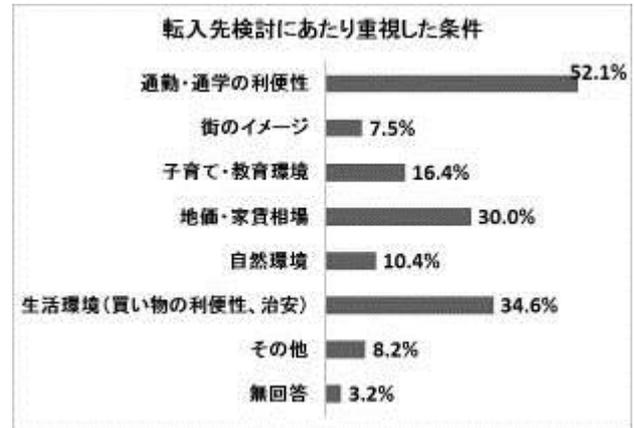
順位	市区町村	人数	割合
1	茅ヶ崎市	36	27.5%
2	藤沢市	33	25.2%
3	秦野市	21	16.0%
4	横浜市	17	13.0%
5	厚木市	13	9.9%
6	伊勢原市	11	8.4%
7	鎌倉市	7	5.3%
7	海老名市	7	5.3%
9	大磯町	6	4.6%
10	相模原市	5	3.8%
11	寒川町	4	3.1%
12	横須賀市	3	2.3%

## 【1】転入者アンケート調査

### 問12 転入先の検討にあたり重視した条件（※複数回答可）

全体でみると、「通勤・通学の利便性」は52.1%で最も高く、次いで、「生活環境（買い物の利便性、治安）」が34.6%、「地価・家賃相場」が30.0%と続いている。

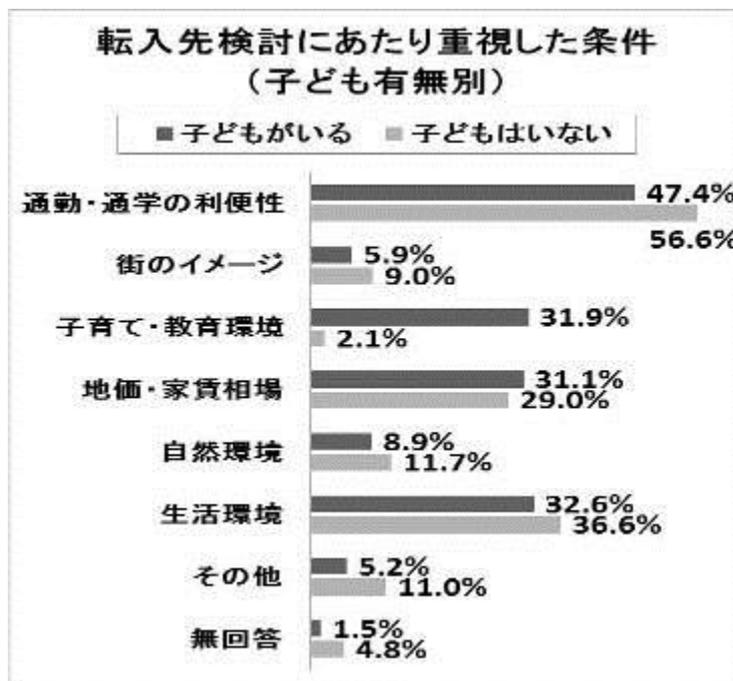
重視した条件	総数	全体
通勤・通学の利便性	146	52.1%
街のイメージ	21	7.5%
子育て・教育環境	46	16.4%
地価・家賃相場	84	30.0%
自然環境	29	10.4%
生活環境(買い物の利便性、治安)	97	34.6%
その他	23	8.2%
無回答	9	3.2%
計(回答総数)	455	-
回答者数	280	



子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、「通勤・通学の利便性」47.4%、「生活環境（買い物の利便性、治安）」32.6%に次いで、「子育て・教育環境」が31.9%と高い割合を示している。

「子どもはいる」方は、「通勤・通学の利便性」56.6%と特に高い割合を示している。

「子育て・教育環境」については、子どもの有無により、割合に大きな差が見られた。



子ども有(N=135)

子ども無(N=145)

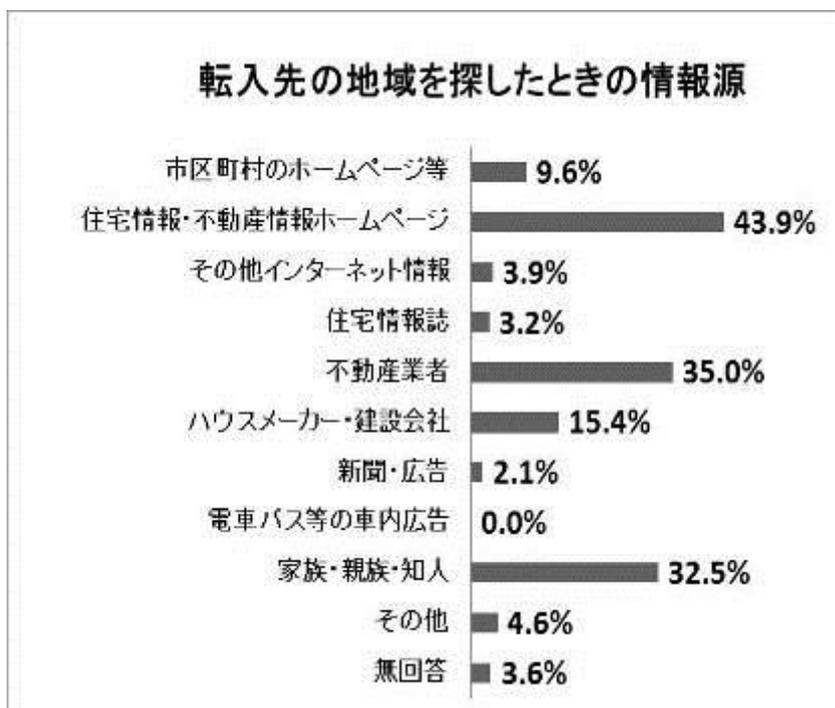
## 【1】転入者アンケート調査

### 問13 転入先の地域を探したときの情報源（※複数回答可）

転入先の地域を探したときの情報源は、「住宅情報・不動産情報ホームページ」が43.9%で最も高く、次いで、「不動産業者」が35.0%、「家族・親族・知人」が32.5%と続いている。

なお、「市区町村のホームページ等」は9.6%に留まっている。

設問	転入先の情報源	総数	割合
転入先の 情報源	市区町村のホームページ等	27	9.6%
	住宅情報・不動産情報ホームページ	123	43.9%
	その他インターネット情報	11	3.9%
	住宅情報誌	9	3.2%
	不動産業者	98	35.0%
	ハウスメーカー・建設会社	43	15.4%
	新聞・広告	6	2.1%
	電車バス等の車内広告	0	0.0%
	家族・親族・知人	91	32.5%
	その他	13	4.6%
	無回答	10	3.6%
	計	431	-
	計(回答者数)	280	

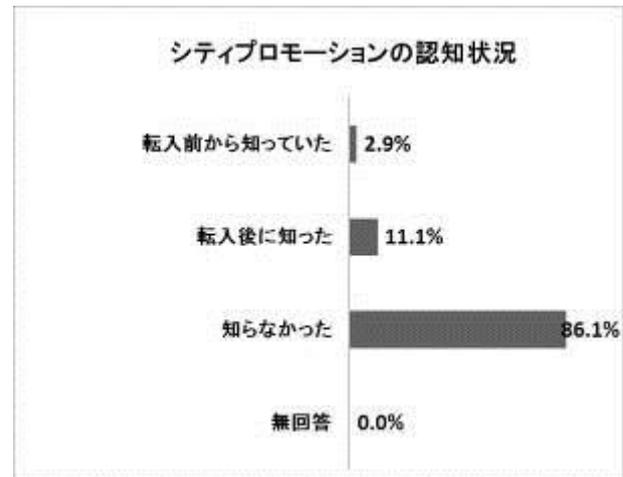


## 【1】転入者アンケート調査

### 問14 平塚市のシティプロモーション（平塚の魅力を発信する取組）の認知状況

シティプロモーションの取組については、「知らなかった」が86.1%で、「転入前から知っていた」は、2.9%に留まっている。

設問	選択肢	総数	割合
シティプロモーションの認知状況	転入前から知っていた	8	2.9%
	転入後に知った	31	11.1%
	知らなかった	241	86.1%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%



### 問15 シティプロモーションの取組は、転入先の決定にあたり、参考になったか。 (N=8 問14で「転入前から知っていた」方が回答)

シティプロモーションの取組を転入前から知っていた方の中で、「まあまあ参考になった」と答えた方は25.0%に留まっている。

設問	選択肢	総数	割合
シティプロモーションの取組は転入先の決定にあたり、参考になったか	とても参考になった	0	0.0%
	まあまあ参考になった	2	25.0%
	あまり参考にならなかった	6	75.0%
	無回答	0	0.0%
	計	8	100.0%

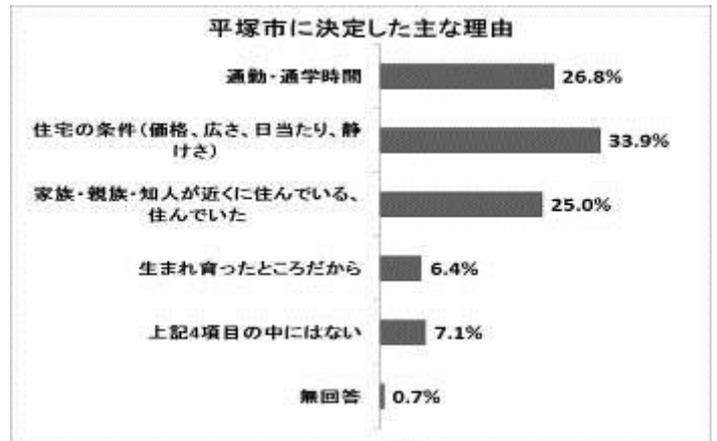
## 【1】 転入者アンケート調査

### 問16 転入先を平塚市に決めた主な理由（回答は1つ）

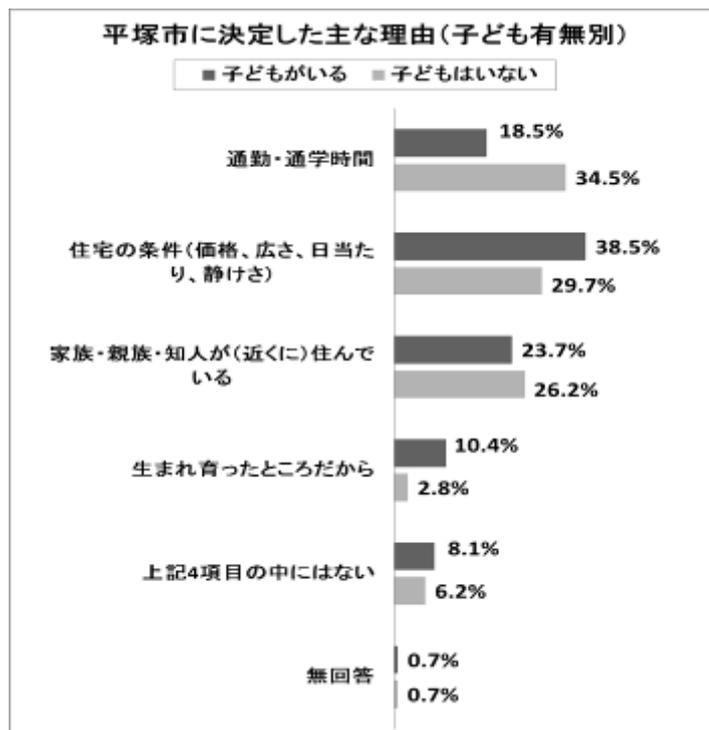
全体では「住宅の条件（価格、広さ、日当たり、静けさ）」が33.9%で最も高く、「通勤・通学時間」が26.8%、「家族・親族・知人が（近くに）住んでいる」が25.0%で続き、これら3つが高い割合を示している。

問12で、転入先の条件として重視するものとして「通勤・通学の利便性」、「地価・家賃相場」が高い割合となっていたが、決定理由としてもこれらが上位となっている。

設問	平塚市に決定した主な理由	総数	割合
決定理由	通勤・通学時間	75	26.8%
	住宅の条件(価格、広さ、日当たり、静けさ)	95	33.9%
	家族・親族・知人が近くに住んでいる、住んでいた	70	25.0%
	生まれ育ったところだから	18	6.4%
	上記4項目の中にはない	20	7.1%
	無回答	2	0.7%
	計(回答総数)	280	100.0%



「子どもがいる」方は、「住宅の条件（価格、広さ、日当たり、静けさ）」が38.5%で最も高く、「子どもはいない」方は、「通勤・通学時間」が34.5%と最も高くなっている。



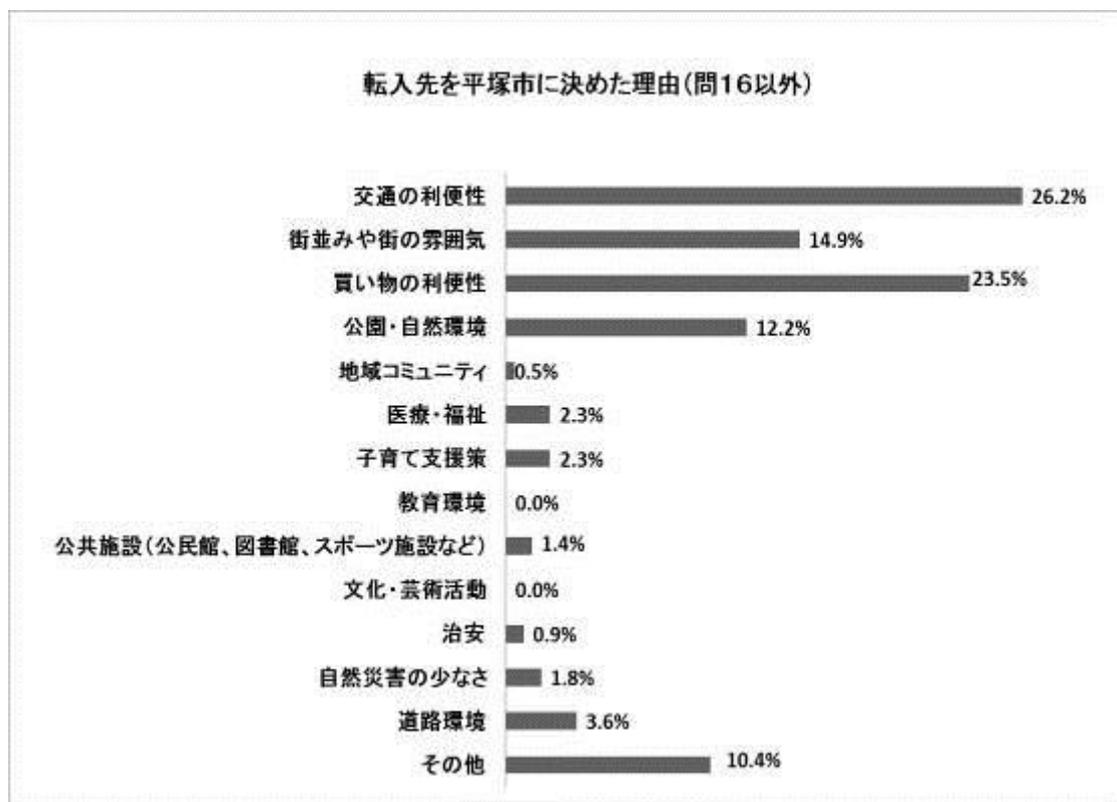
子ども有(N=135)  
子ども無(N=145)

## 【1】転入者アンケート調査

### 問17 転入先を平塚市に決めた理由（問16以外）（回答は1つ）

転入先を本市に決めた理由（問16以外）は、「交通の利便性」が26.2%で最も高く、次に「買い物の利便性」が23.5%、「街並みや街の雰囲気」が14.9%、「公園・自然環境」が12.2%で続いている。

設問	平塚市に決定した理由	総数	割合
転入先を平塚市に決めた理由(問16以外)	交通の利便性	58	26.2%
	街並みや街の雰囲気	33	14.9%
	買い物の利便性	52	23.5%
	公園・自然環境	27	12.2%
	地域コミュニティ	1	0.5%
	医療・福祉	5	2.3%
	子育て支援策	5	2.3%
	教育環境	0	0.0%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設など)	3	1.4%
	文化・芸術活動	0	0.0%
	治安	2	0.9%
	自然災害の少なさ	4	1.8%
	道路環境	8	3.6%
	その他	23	10.4%
	計	221	100.0%



## 【1】転入者アンケート調査

### 問18 転入先を平塚市に決めた具体的な理由（自由記述） ※主なものの抜粋

#### ■「交通の利便性」と答えた方の主な理由

- ・都内や横浜まで電車一本で通うことができる。
- ・始発電車があるため、座って通勤できる。
- ・高速道路のインターチェンジが近いので、通勤等に便利
- ・バスの本数が多い。

#### ■「買い物の利便性」と答えた方の主な理由

- ・大型商業施設が複数あり、スーパー等もたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろおう。

#### ■「街並みや街の雰囲気」と答えた方の主な理由

- ・街全体がのんびりとした雰囲気で、家族でゆったり生活できる環境があると感じた。
- ・静かで暮らしやすい。
- ・特に海岸地区の街並みや雰囲気が良かった。

#### ■「公園・自然環境」と答えた方の主な理由

- ・総合公園をはじめ、公園が充実しているので、子育てしやすい。
- ・海、山、川など自然が豊かで伸び伸びと子育てできる。

## 【1】転入者アンケート調査

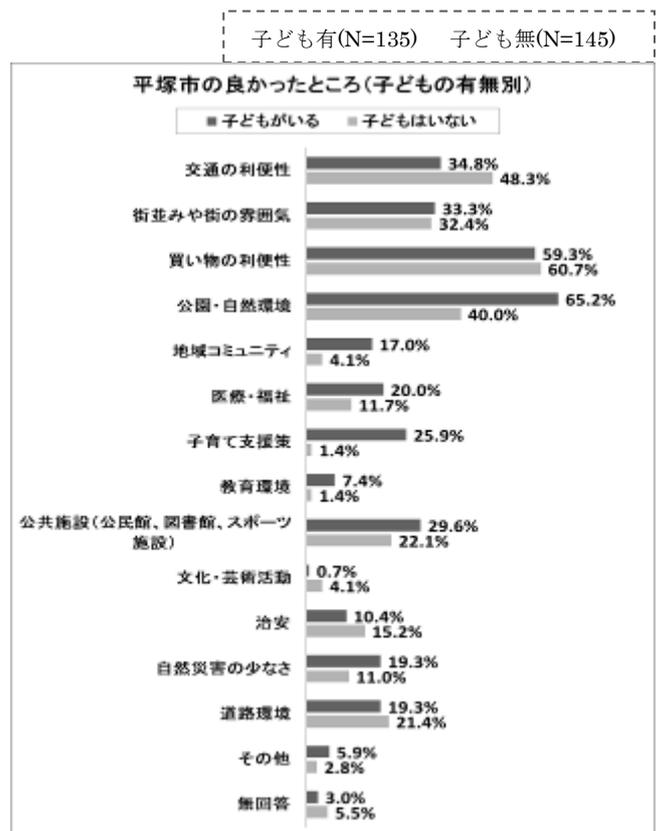
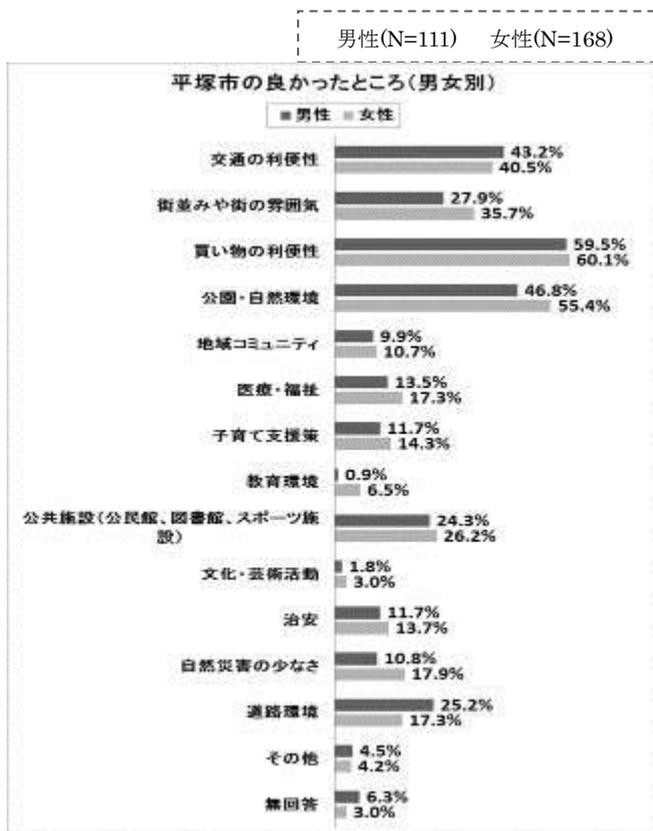
### 問19 平塚市に住んでみて良かったところ (※複数回答可)

全体で見ると、「買い物の利便性」が60.0%で最も高く、次いで、「公園・自然環境」52.1%、「交通の利便性」41.8%、「街並みや街の雰囲気」32.9%と続いている。

設問	良かったところ	総数	割合
良かったところ	交通の利便性	117	41.8%
	街並みや街の雰囲気	92	32.9%
	買い物の利便性	168	60.0%
	公園・自然環境	146	52.1%
	地域コミュニティ	29	10.4%
	医療・福祉	44	15.7%
	子育て支援策	37	13.2%
	教育環境	12	4.3%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	72	25.7%
	文化・芸術活動	7	2.5%
	治安	36	12.9%
	自然災害の少なさ	42	15.0%
	道路環境	57	20.4%
	その他	12	4.3%
	無回答	12	4.3%
計	883	-	
	計(回答者数)	280	



「買い物の利便性」については、男女別、子ども有無別のいずれにおいても高い割合を示している。また、「公園・自然環境」については、「女性」と「子どもがいる」方の割合が特に高くなっている。

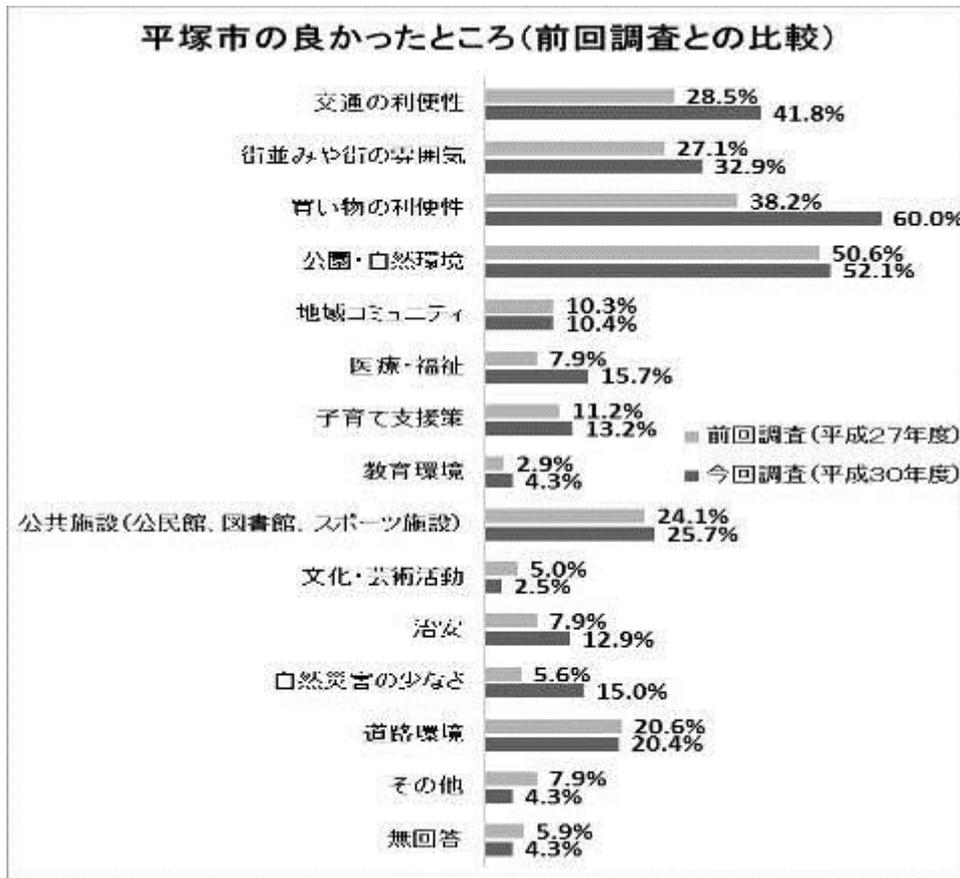


## 【1】転入者アンケート調査

### ■平塚市に住んでみて良かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、「交通の利便性」と「買い物の利便性」の割合が大きく増加し、「買い物の利便性」は今回調査で最も高い割合となっている。

また、「公園・自然環境」も前回調査同様、50%を超えており、高い割合となっている。



平塚市に住んでみて良かったところ（複数回答可）の総数は、前回調査より増加し、一人当たり3個を超える結果となった。

	総数(無回答除く)	回答者数	一人あたり平均
平成27年度	843	340	2.5
平成30年度	871	280	3.1

## 【1】転入者アンケート調査

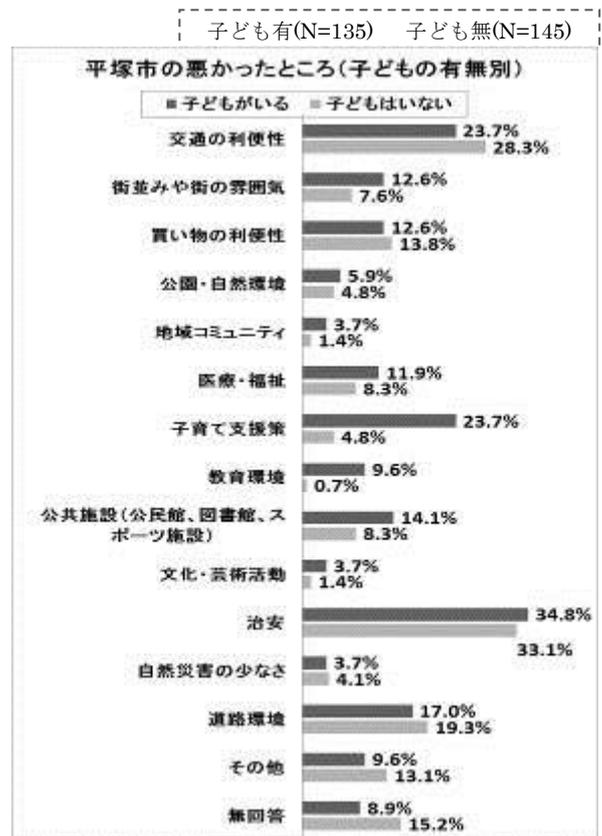
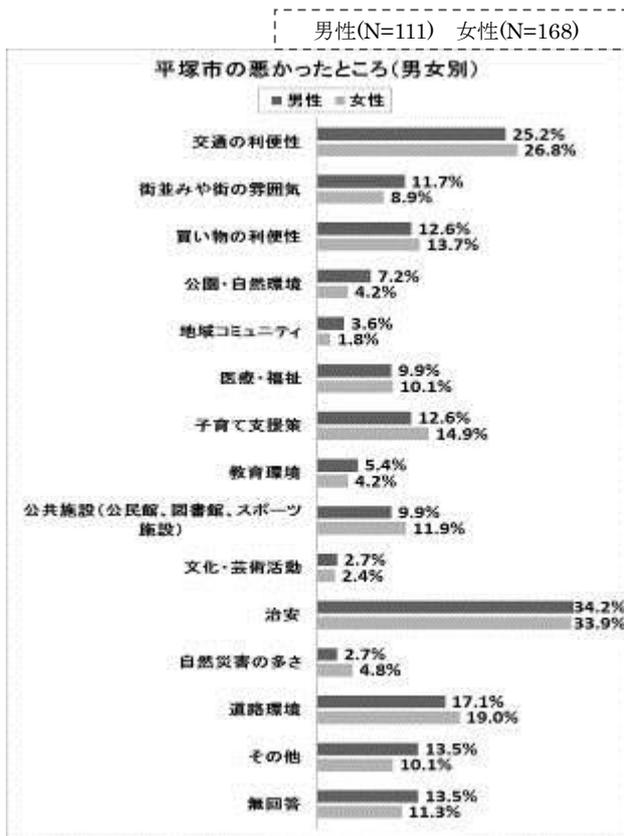
### 問19 平塚市に住んでみて悪かったところ (※複数回答可)

全体でみると「治安」が33.9%で最も高く、次いで、「交通の利便性」26.1%、「道路環境」18.2%と続いている。

設問	印象(悪かったところ)	総数	割合
悪かったところ	交通の利便性	73	26.1%
	街並みや街の雰囲気	28	10.0%
	買い物の利便性	37	13.2%
	公園・自然環境	15	5.4%
	地域コミュニティ	7	2.5%
	医療・福祉	28	10.0%
	子育て支援策	39	13.9%
	教育環境	14	5.0%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	31	11.1%
	文化・芸術活動	7	2.5%
	治安	95	33.9%
	自然災害の多さ	11	3.9%
	道路環境	51	18.2%
	その他	32	11.4%
	無回答	34	12.1%
計	502	-	
	計(回答者数)	280	



「治安」は、男女別、子どもの有無別のいずれにおいても高い割合を示している。また、「子育て支援策」と「教育環境」は、子どもの有無で割合に大きな差が出ていることが分かる。

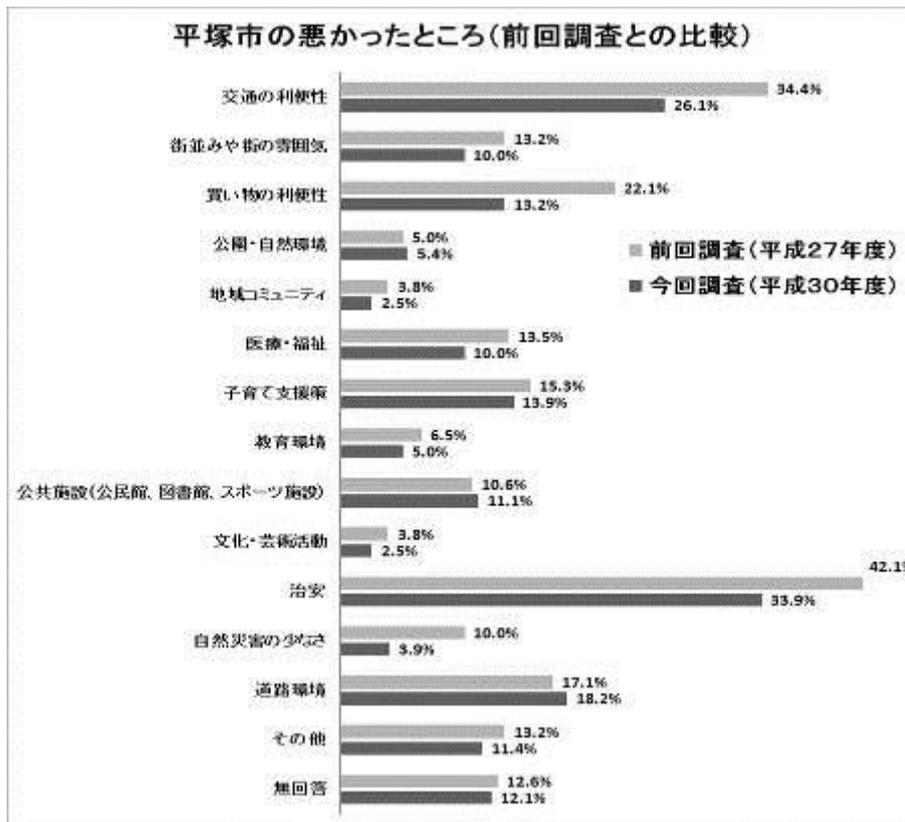


## 【1】転入者アンケート調査

### ■平塚市に住んでみて悪かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、最も割合の高かった「治安」と次に割合の高かった「交通の利便性」の順番は変わらないが、割合は大きく減少している。

また、前回調査で3番目に割合の高かった「買い物の利便性」も割合が大きく減少しており、今回調査では5番目に高い割合になっている。



平塚市に住んでみて悪かったところ（複数回答可）の総数は、前回調査より減少し、1人当たり 2.1個から、1.7個になった。

	総数(無回答除く)	回答者数	一人あたり平均
平成27年度	716	340	2.1
平成30年度	468	280	1.7

## 【1】転入者アンケート調査

### 問20 平塚市の良かったところ (自由記述) ※主なもの抜粋

- 「買い物の利便性」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 大型商業施設が複数あり、スーパー等がたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろおう。
- 「公園・自然環境」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 総合公園をはじめ、公園が充実しているので、のびのびと子育てできる。
  - ・ 海、山、川など自然が豊かである。
- 「交通の利便性」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 都内や横浜まで電車1本で通うことができる。
  - ・ 始発電車があるため、座って通勤できる。
  - ・ 高速道路のインターチェンジが近いため、通勤に便利である。
- 「街並みや街の雰囲気」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 街の雰囲気がゆったりしていて、人が温かい。
  - ・ 特に真田地区は街並みがきれいで、若い世代も多く活気がある。

### 問21 平塚市の悪かったところ (自由記述) ※主なもの抜粋

- 「治安」が悪いと答えた方の主な理由
  - ・ 駅周辺の治安
  - ・ 自転車等の盗難にあった。
  - ・ 街路灯が少なく、暗い道路がある。
- 「交通の利便性」が悪いと答えた方の主な理由
  - ・ バスの本数が少ない。
  - ・ 東海大学前駅（真田方面）から平塚駅のバスがない。
  - ・ 鉄道の駅が平塚駅しかない。
- 「道路環境」が悪いと答えた方の主な理由
  - ・ 交通量が多いのに、歩道が整備されていない道路がある。
  - ・ いつも渋滞している道路がある。

